

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	篠ノ井の古建築調査による文化財の保護・活用事業
事業主体 (連絡先)	篠ノ井史跡等ボランティアガイド会 (連絡先) 長野市篠ノ井御幣川 281-1
事業区分	(6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,132,008 円 (うち支援金: 380,000 円)

事業内容

1)篠ノ井の古建築調査活動

篠ノ井の古建築を各地区でピックアップし、所有者、専門家、市民団体が協働し現地立入り調査する。

2)調査報告書の作成とマップの制作

調査結果を報告書やマップに整理記録し発刊する。

3)現地見学会

代表的古建築について現地をめぐる市民・関係者に説明し、古建築の保護・活用の必要性を共有する。

4)調査結果報告会

市民・関係者に調査報告書を用いて報告する。



【 現地見学会 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1)篠ノ井の古建築 50 件の調査が完了し、その記録を残すことができた。

2)篠ノ井の古建築マップを制作、観光ガイドやイベント参加者に配布活用し、篠ノ井の古建築を継続的に PR できる。

3)現地見学会・調査結果報告会を開催し、情報を市民・関係者で共有すると共に市民に保存活動呼びかけた。署名 3,600 人を付し、市に陳情することができた。

4)篠ノ井の古建築に関する図書(調査報告書 A4 判 258 頁)を制作し図書館等公的機関に提供した。

【目標・ねらい】

- ① 調査目標 30 件以上→50 件達成
- ② 古建築所在地マップ制作→完
- ③ 現地見学会・調査報告会と保存活動→目標以上の参加実績
- ④ 調査報告書を公的機関に提供

※自己評価 【A】

【理由】

- 1)目標とした項目について、予定以上の実績効果を上げた
- 2)地元の新聞やテレビなども特集の予定あり波及効果期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 現地見学会・施設管理者交流会などを開催し、文化財の保護・活用の必要性を共有する。
  - ・具体的事例として、パンフレットの制作など
- 2) 調査報告書や古建築マップを用いて、シンポジウム、各種イベント・ウォーキングなどで地元の古建築の良さを発信していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある